

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成23年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等	介護保険法
事業開始年度	平成12年度(実質平成11年10月)		
総合計画	大項目 基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目 基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり
	小項目 施策	05	介護保険
事務事業名	02 介護保険認定事業		
	問 担当課(室)	介護福祉課	
	合 職・氏名	介護保険係長 西角 桂子	
	先 電 話	0869-64-1828	
	このシート作成に要した時間		4.0 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	40歳以上の介護保険被保険者及び要介護(支援)認定者	
目的(何のために)	介護保険の給付を受けるためには、被保険者は市により要介護(支援)認定を受ける必要があるため。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	介護保険の申請(新規・更新・変更)があった被保険者に対し、市職員が認定調査を行う。認定調査結果と主治医意見書を基に、コンピュータによる一次判定を経て、保健・医療・福祉に関する学識経験者から構成された介護認定審査会を毎週開催し、対象者の要介護度を認定する。定められた期間内(申請から30日以内)に、適正で公平な認定調査・審査・判定を行うことにより、介護保険の効率的なサービス受給ができるようにする。	

事業の実績				Do
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明		優先度
	介護認定審査会事務	申請書・調査結果・主治医意見書による資料を作成し毎週審査会を開き、申請があった被保険者		
	認定調査等事務	市職員が公平公正で客観的かつ正確に行うよう、全国一律の方法により調査をする		

事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
決算額	事業費	千円	14,191	15,355	15,005
	必要人員	人	4.53人	5.21人	5.05人
	事業費計		39,304	42,096	40,530
	国 県 支 出 金	千円			
	受 益 者 負 担				
繰 入 金					
市 債 ( 償 還 )					
その他( )		39,304	42,096	40,530	
一 般 財 源					
受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
審査件数	説明		介護保険審査会において審査された件数		
結果指標量	件		2,226	2,488	2,228
対 前 年 比	%		111.8%	111.8%	89.5%
活動コスト	円		39,304,000	42,096,000	40,530,000
単位当たりコスト			17,657	16,920	18,191

事業の成果						
成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値	
申請から30日を超える超過率	目標値(A)	0.3	0.3	0.3	0.3	
	実績値(B)	0.447	0.695	0.462	到達目標値	
	達成率(B/A)	149.00%	231.67%	154.00%		0
成果指標設定の考え方・式や説明						
申請から認定(審査会)までが30日を超える割合(認定遅延件数/認定件数)						

事務事業の評価		該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  <b>A</b>
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  <b>B</b>
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 BCIDE や普や や通や 高 低  <b>A</b>

進行年度(H24年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	申請状況や、認定までの進捗状況を把握し、適正でかつ遅延のないように認定処理を行う。また緊急に認定を要する申請者に対しては、迅速に介護保険のサービスを受給できるようにする。						

総合評価		総合評価
23年度当初から1回の審査件数が拡大されているため遅延率が減少し、受給者に対するサービスが向上したことがうかがえる。		総合評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  <b>B</b>

平成25年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	認定遅延件数の減少に努め、要介護(支援)者が、適正かつ迅速に介護保険のサービスを受給できるようにする。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価する